

学研春秋

ホームページ (<https://gakken-syunju-kai.com/>) もご覧ください。



第74号

令和7年(2025年)
8月発行

題字: 高橋秀鋭
(号 洋風)



81回大会参加者氏名 (会員 57名 敬称略)

＜来賓＞ (株)学研ホールディングス取締役 五郎丸 徹 (株)学研ホールディングス執行役員 山崎 知恵
南條 達也

＜会員＞ 秋谷俊之 安部隆 阿部利隆 荒井久男 安藤昌和 飯田弘 碓秀行 伊與部史朗 遠藤久光 大久保匡信 大竹光夫
忍足恵一 景山美昭 加藤建二 川西義規 川村正孝 北野行二 木目田博 倉持三郎 黒崎輝雄 小池博 小西貞人 酒井毅
佐藤敏和 佐藤八郎 塩國彦 塩澤和雄 篠崎作三郎 清水晃一 清水春樹 白石一清 菅原徳太郎 鈴木昭三 鈴木禹志
関口一郎 田中茂樹 谷口裕治 谷口義博 反頭義光 塚田ちよ子 堤満弘 中居栄太郎 永松久幸 中村孝士 中森知 西島一
能塚泰秋 日向邦夫 福山通彦 松下勲光 眞當哲博 丸山尊義 村上裕也 森一郎 守田志郎 和田保男 綿引英子

第81回春季大会を 日暮里で開催

第81回春季大会は、令和7年五月二十四日(土)に、アートホテル日暮里 ラングウッドにて、会員57名が参加して開催されました。

学研ホールディングスからは、五郎丸徹取締役はじめ三名の方々に臨席していただきました。

第一部は、先ずこの半年の間に逝去された六名の方々のご冥福をお祈りして黙祷をささげました。続いて安部春秋会会長の挨拶があり、その中で、新役員の紹介と新たに会のホームページが開設された報告がありました。そのあと、谷口会計担当から会計報告がなされ承認されました。

次に五郎丸取締役と山崎知恵執行役員・南條達也執行役員からご挨拶をいただきました。

そしてそのあと、新入会員と大会初参加の四名の方々に自己紹介をしていただきました。

続いて、米寿・傘寿・古希になられた方々のお祝いをいたしました。

第二部の懇親会は、篠崎作三郎さんの乾杯の発声でスタート。ビュフェ形式で楽しい歓談のひとつを過ごしました。

その後、ビンゴゲーム、抽選会と賑やかに進行し、「学研社歌」「学研音頭」「青い山脈」を歌ったあと、眞當哲博さんの閉会の挨拶で終了しました。

会員には学研ホールディングスから提供された本をお土産にお持ち帰りいただきました。



第81回大会開催にあたって

学研春秋会会長 安部 隆



皆さん、
おはようござい
ます。
今日の81

回・春季大会には総勢60名の方々が参加されています。このラングウッドホテルは、今回で3回目の開催ですが、久しぶりにお元気なお姿を拝見して大変嬉しく思っています。

また、いつもの通り学研本社からも五郎丸役員はじめ3名の役員の方々にご出席いただき、感謝申し上げます。そして、これまで恒例のお祝い金およびたくさんのお品物を頂戴いたしましたこと大変有難く、会を代表して厚く御礼を申し上げます。

皆様のお手元に本日の参加者の方々の名簿が配られているかと思いますが、本日の参加者の中での最高齢者は、川西義規さんです。川西さんは、この春秋会にはこれまで一度も欠席されることなく参加されておられます。皆さんの盛大な拍手をお願いします。

さて、先ずは冒頭に会員数の減少が続いていることについてご報告をしなければなりません。一年前にもこの席で会員増について、皆様のご協力をお願い申し上げました。有難いことに、多くの方からご紹介をいただきましたが、残念ながらお亡くなりになる方も多く、減少が止まりません。引き続き、今年度も増員に向けてのご協力をお

願い申し上げる次第です。

次に、今年度の活動方針について、簡単にお話しさせていただきます。まず、役員体制ですが、幹事の顔触れは一年目と同様です。ただ評議員の方で、ご病気でお亡くなりになった「藤原郁久さん」に代わって「能塚泰秋さん」に加わっていただくことになりました。後ほどご挨拶をいたします。

活動内容の概要は、これまでの項目を踏襲しつつ、ほぼ例年通り変わらずに実施をしています。予定です。新しい項目としては、昨年のこの席でお約束をさせていただいた「春秋会の田」が完成し、5月17日に立上げることができましたのでご報告させていただきます。内容的にはまだまだ不十分ですが、今後は適宜更新をしてより充実したものにしてまいりたいと考えていますので、ご期待ください。

40年の歴史をもつ「学研春秋会」は、かつて学研で共に仕事をした仲間たちと懇親を深めるための「場」です。「会報誌」・「大会への参加」などを通じて仲間たちとの交流を深めていければと願っております。今後とも役員一同は、その「場」をより充実させるために力を尽してまいりますので、一層のご協力をお願いして、ご挨拶とさせていただきます。

本日は、楽しいひとときをお過ごしください。

長寿おめでとう

ごさいます！

今回のお祝いの方は、次の方々です。

(誕生日順、敬称略)

米寿(88歳) お祝いの会員(9名)

鈴木禹志 小西貞人 斎藤 啓

加納伸剛 岡村 弘 福井康雄

下山田雄爾 皆川昌勝 反頭義光

傘寿(80歳) お祝いの会員(8名)

大久保匡信 畑 朗 松浦一男

福沢弘行 影山皓一 桐原 靖

石原寛二 東 寛治

古希(70歳) お祝いの会員(8名)

大西三喜男 宮原雄一 菅原徳太郎

西奥則子 大野俊彦 大塚秀樹

佐藤敏和 上野雅道

米寿



反頭義光・小西貞人・鈴木禹志

傘寿



大久保匡信

古希



佐藤敏和・菅原徳太郎

会員からのメッセージ

大会出欠の返信はがきから転載しました。スペースの関係ですべては掲載できませんでした。内容は5月の時点です。

(青木隆明) 退職後に本格的に

始めた合唱活動、4団体で歌い続けてきました。しかし、いつまで歌えるものか、段々《からだ》との相談となりつつあります。今年も本番の舞台や高齢者施設での演奏など、さらに6月、9月、年末と続きます。少なくとも今年いっぱい頑張れそう？同様に、「畑仕事」も「山登り」も段々辛くなってきました。いずれにしても、楽しみ方の工夫を凝らして行きたいと思っています。

(碓石眞彦) 元気です。



(石井泰之) 3月末から、GHS

マレーティングDX室でアルバイトをしています。月々木曜日の午前中で、在宅の業務です。

(石坂公二) 今年43年間お世話

になりました学研を卒業します。5月25日に長女が結婚式を挙げます。

(石原寛二) おかげさまで、大過なく過ごしております。

(伍井達朗) 保育園の評価活動を細々とやりながら、クロスバイクやウォーキングで失って

いく体力に抗っています。

(伊藤雅信) 心臓手術をして5

年近く経過します。四季を感じつつ毎日散策をし、ほけな

めにも日用品の買い物・銀行の

(荒木勝彦) 毎日、犬の散歩に精を出しています。

(安藤昭寿) 今年の4月で86歳

入出金をしています。また、新聞・雑誌を読んだり、クイズに挑戦するのが日課になっているこの頃です。

(岩野一夫) 大過なく過ごしております。

(岩間勇水) 相変わらずの毎日を生きております。ゴルフもメンバーがなく、一人二人では楽しくないので中止してもう2年が過ぎました。

(上野雅道) 会社OB、学生時代の仲間とのゴルフ合宿、温泉飲み会を楽しむため、体調と酒量の維持に努めています。

(遠藤暢喜) 今年は年初に体調をくずしましたが、今は健康を取り戻し元気に過ごしております。ただ、調布駅以遠に出かける折には、家族が連れ添って来ています。

(遠藤久光) すべての行動がスローモーになりました。ゆっくりゆっくりと消光中です。

(遠藤博) 来年は卒寿を迎えますが、親しかった方々が次々と天国へ召されていくのが悩ましいこの頃です。

(笈沼暁子) 肩を痛め通院中ですがだいぶ良くなってきました。重い物が持てず、苦労しています。

(大井恒晴) 膀胱結石症(縦30mm・横30.4mm)除去手術で、3日入院。徐々に回復中です。何とか、元気でいます。

(大内章) 脚力の低下、思考力、判断力の低下など加齢に伴う様々な低下を恨めしく感じながら、人との交わり、会話、グ

ループでのスポーツなどにほとんどに自己研鑽というにはほど遠いが、加齢相手に無駄な抵抗を続けています。とりあえずは元気に過ごしています。

(大北義昭) 障がい者サービス事業で、マルシェ、レストラン、保護動物園、B・B・Q会場運営と、日々頑張っております。

一日24時間では足りない思いは、学研社員の時と同様です。地域の皆様に喜んでいただけるように、今後も走り続けます。

(大久保匡信) この度学研春秋会より傘寿のお祝い品をいただきました。ありがとうございます。80歳を無事迎えることができました。全てに感謝しかありません。次なる高みに向け、努力するつもりです。皆様方の更なるご指導をよろしくお願いいたします。

(大竹光夫) 1月に16年勤めたパートの75歳定年退職を迎え、現在は、買い物と炊事の主夫業と肥満防止のため近くの自然公園での散歩やストレッチ運動に励んでいます。

(大西三喜男) 古希を迎え、現役生活から退くことにいたしました。人生の収穫期を、健康第一で思いっきり楽しみたいと思っております。

(大村晋) 生涯現役カメラマンをめざして頑張っています。

(岡本和之) 岡山の片田舎に帰省します。今回が最後の小・中学校の同窓会になるようです。

(忍足恵一) 股関節痛や左肩の

鍵板炎もだいぶ良くなり、リハビリ通院もやっと終わった。回復のため4月から港区のシニア体操教室に、週1回通い始めた。痛みもなくなつて、早くゴルフができるようになりたい。

(小野寺哲也) 元気にやっています。

(甲斐田陸記) 今年2月、脳神経内科の医師より、車の運転は止めるようにと忠告を受けました。よって3月に車の売却、4月に免許証の自主返納手続きを完了。何かと不便を感じていました。また、長年の懸案であった白内障の手術をしました。手術は簡単でしたが、手術後の目薬の点眼、そして屋外の行動での注意事項が面倒です。

(景山美昭) 42年間の会社生活を終え、この度お仲間入りをさせていただきました。新しい人生を楽しく過ごさせていただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。

(影山皓一) 『好きなことをやって全財産を使い切れ。心残りなんか心配するな。面倒くさい子育ても妻の世話も全部終了している。最後くらい自由に生きろ。わがままにしろ。楽しいことだけやれ。気なんか使うな。』高橋源一郎氏が人生相談でこのように答えた。私の人生相談ではなかったが、このように考えたい、したい。と思いました。

(加藤建二) 近頃耳が遠くなり、トイレが近くなりました。

(金丸幹尚) 87歳になりました。

足腰は弱りましたが、近くの散歩やショッピングぐらいは一人で歩けます。

生かされた命、残りの時間を大切に、夫婦共々、ユルユルと過ごしたいと思っています。

(金子尚道) 最近、行政書士としては遺産分割協議など。社労士としては、就業規則等法律改正に伴う相談業務が多くなっています。

(神山武) いつも「学研春秋」を送ってくださり、感謝です。

(川上親孝) 小生、健康面はおかげさまでバッチリです。

(河崎伊知郎) 学研を退職して8年目に入りました。何とか現役を続けておりますが、寄る年波には勝てず、現在週3日の勤務とさせてもらいました。あと2年は頑張りたいと思います。

(川西義規) 近所に空き家が多くなり、心配が増えました。

(川村正孝) 3月中旬、体調を崩し、手術を受けました。現在は元氣を取り戻し、普段の生活を送れるようになりました。

(北野行二) 月一度の病院通いのほかは大丈夫と思っていたが、歯やら肌やらと経年劣化の身を今更ながら・・・の日々です。

(木目田博) 学童クラブの見守りを、夕方から月15日くらいやっています。春秋会を楽しみにしています。

(紀本智三郎) 私の住む地域では、最近スーパー・医院の廃業、小学校の廃校が相次ぎ、都下でありながら、過疎の町と化しま

した。そのために、運転免許の返納を先延ばしにすることになりました。今後とも、超安全運転に努めたいと思っています。

(黒崎輝雄) あつという間に、今年73歳になります。週2日古岡奨学会に通っています。母子家庭の子ども達の母親への感謝の気持ちと現状を打破するための努力には頭が下がります。少しでも役に立てればと考えております。

(黒羽正一) 本年5月満87歳の誕生日。免許証更新の案内を1月に受信。75歳以上の免許証更新に課せられる「認知機能検査」を1月に、「高齢者講習・運転技能検査」を3月にパス。5月1日免許証更新無事完了。3年前の当欄にて「最後の更新」を宣言。前言を翻すことに・・・。

(倉持三郎) 近隣の生田緑地、県立東高根森林公園、二ヶ領用水、多摩川土手などのコースを変えての散歩を日課として、まずは元氣に過ごしています。

(栗田正一) 学研を退職後も古岡奨学会でお世話になっております。ありがたいことです。

(小池博) 八十路なりに、元氣に生活しております。

(小瀬昌明) 今年68歳になります。お陰様で今も現役で営業の仕事をしています。長野支社勤務時代と同じ長野県内を、東奔西走しています。

(小西貞人) 年を取り外出することが少なくなり、その分在宅時間が多くなり、暇つぶしに、

乾杯

乾杯発声 (篠崎作三郎)



黙祷

81回
大会風景
(敬称略)

会計報告と監査報告

受付



(谷口義博) (中居栄太郎)

来賓挨拶



五郎丸 徹
取締役

山崎 知恵
執行役員

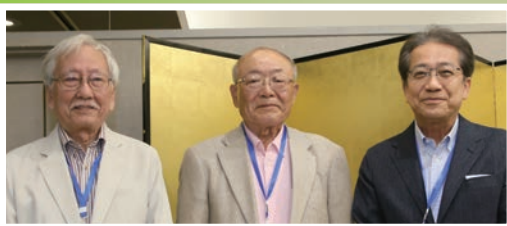
南條 達也
執行役員

司会

第二部司会
(伊與部史朗)

第一部司会
(忍足恵一)

新入会員挨拶



(能塚泰秋)

(中村孝士)

(景山美昭)

初参加会員挨拶



(碓秀行)

ビュッフェ形式の食事



飲み物もいろいろ



囲碁を打っています。日本棋院の「幽玄の間」に接続し、インターネットで打っています。対局数は32000局になりました。二段で打っていますが、戦績は勝ち負け半々です。

(小林民夫) 元気に過ごしています。コロナ禍でやめていたプール通いを再開し、腰痛改善に効果的だという水中ウォーキングに励んでいます。

(小林幹彦) 今年2月で81歳になりました。いろいろ病をかかえていますが、元気にしております。

(斎藤啓) 昨年から外出を控えております。(座骨神経痛のため)日常生活は何かなくなっていますが、今は療養に専念し、来年は大会に参加したいと願っています。

(坂本登) 家庭菜園、ウォーキングと、毎日元気にしています。昨年の夏は熱中症に注意していましたが、今年是对策を考えて今から活動して行きたいと思っています。GWは、茨城の学生時代の同級生の実家に行つて、剪定草むしりをしてきます。

(相良直哉) 小中学生、保護者を対象に、学校へ通学できない児童を支援する活動をしています。

(佐々木琢磨) ボケ防止に指先を使うウクレレが良いということで、個人レッスンを受けに行きました。二歩前進、三歩後退で、講師にののしられて、やめました。今はウクレレ手作りに転向

し、6本作りました。

(佐々木英夫) 現在は、地元自治会の役員として、少子・高齢者対策に取り組んでおります。身の丈にあった奉仕活動を、誇りを持って頑張っています。

(佐藤浩一) お陰様で元気にしています。

(佐藤敏和) ほぼ毎日、読書と散歩と料理の生活です。たまのゴルフと競馬と麻雀が、日々の生活にアクセントをつけています。何を食べてもおいしく感じます。元気にやっています。

(佐藤八郎) 「JBプレス」というインターネットのニュースサイトに「名馬伝説」という競馬記事を連載しています。(筆名:堀井六郎)

先日、五反田に住んでいる27歳の娘と「たこ安」で飲みました。(笑顔)

(重野隆弘) 新たな仕事に就きました。体調管理をしながら、生活しています。

(設楽皓一) 相変わらず大手衣料量販店で、派遣として仕事をしています。最近腰を痛め、フットネスクラブは休会中です。

(篠崎作三郎) 相変わらず、スマホ&PCの教室と相談室を仲間と続けています。場所は、磯子区上中里地区センター、上大岡の大岡地区センター、浦舟町の多目的センター、蒔田のコミュニティハウスに限定しています。

(清水敏) 歩くのがよっぽよになり杖が必要になりました。市

素敵な賞品



社歌熱唱



抽選会大当たり!!



歓談



ビンゴ

おまけに、
じゃんけんゲーム閉会挨拶
(眞當哲博)

また会いましょう!



から要介護2と認定され、デイサービスに週2回行っています。介護施設からの送迎付きです。女性スタッフが体を洗って、頭も洗ってくれます。昼食も出ます。椅子に腰掛けたまま、老人向けに工夫された体操もします。満足しています。

(清水春樹) 2月より、才能開発教育研究財団で勤務しております。おそらく、学研人生の最後のご奉公になるかと。

(示沢隆文) シニア社員で働きながら、好きな自転車で南船北馬しています。

(白石一清) 毎年学生時代の友人と3人で旅行をしています。昨年は茨城県へ行ってきました。県北を中心に、袋田の滝、西山荘竜神大吊橋などを見学しました。今年は7月に栃木県を予定しております。

(杉山茂生) 90歳をこえてから年々体力が衰え始め、歩くのも厳しくなってきました。老化現象がこのような状態になるのだと実感しました。でも、今のところは毎週火曜日は体操教室、土曜日はグランドゴルフをやり、何とか元気な日々を過ごしております。月1回、会社の仲間とやるマージャンが唯一の楽しみです。

(鈴木禹志) できるだけ、毎日歩くように心がけています。

(鱈澤之) 相変わらずゴルフ中心の生活を続けています。男性健康寿命75歳までの一年、A180台が危うくなりつつも、

健康で月10Rペースのゴルフを続けるのが当面の目標です。

(関口一郎) PCの動きがかなり悪くなったので、ウインドウズ11に替えたところ、速くなったのはありがたいのですが、一つひとつ「取扱説明書」を見ながらなので、かえって遅くなっています。困ったことです。

(高橋俊太郎) 今年1月に3人目の孫が誕生。とにかく元気に過ごしております。

(田中勲) 退職後25年経過。退職後は鉄道を趣味にしております。駅めぐりが好きです。すでに800駅あまりを訪ねました。

(田中茂樹) 普通の生活はできていますが、物忘れや動作が鈍くなってきました。引き続き、家庭菜園は無理のない範囲で行っています。

(谷口裕治) 今年、孫が大学に合格しました。私は、自宅のファンヒーターの灯油を入れ替えようと、タンブラーを持ちながら灯油タンクを持ったところ、オットットと時代劇のごとく、手で障子突き破ってしまうくらい。成長ホルモンで、アンチエイジング中。

(谷口義博) 日々の健康管理に畑を借りて野菜作りをしています。特に、タマネギ・サツマイモに力を入れておりますが、膝と腰に湿布を貼りながらの作業となってきました。毎年新しい野菜の種を蒔いて、育ち方を見るのが楽しみになっております。

〔反頭義光〕 今年も近くの公園の桜が満開となり、健康であることに感謝しています。また、春秋会より米寿のお祝いをいただき、感謝を申し上げます。

〔丹野智彦〕 自治会の仕事に振り回されておりま。

〔塚本正人〕 地域の高齢者を対象とした体操教室を始めてから早くも10年が経ちました。ラジオ体操やふるさと体操、ストレッチなどの軽い体操に加え、認知症予防のための脳トレも取り入れています。休憩時間にはおしゃべりと笑い声が絶えず、情報交換の場にもなっています。

ただ、年々フレイルの方が増えており、それに伴い会員数が減少しているのが残念です。

〔堤満弘〕 昭和の歌がTVで頻繁に流れているように感じます。昭和TVドラマ傑作選として、「俺たちの旅」や「西武警察」等若き頃の懐かしいドラマが、書店でDVDで売られています。だからなのか、40〜50年前のことを突然思い出したりします。今思えば、何をして楽しかった時代でした。

〔中居栄太郎〕 2月、人生初めて入院しました。いづどんなことで病気になるか分からないので、些細なことの变化を見逃さないよう気をつけて生活したいと思っています。

〔中川裕市〕 才能開発教育研究財団で、まだ頑張っています。

〔中沢陸彌〕 幸い健康に恵まれ、よく働き(ダブルワーク)、よく遊ぶ(いろいろ)を実践しています。

遊ぶ(いろいろ)を実践しています。

〔中島正博〕 4月の半ばに、久しぶりに昭和記念公園に行ってきたが、相変わらず若い男女、家族づれであふれかえっていました。歳を感じさせられる一日でした。

〔仲田雄二〕 残念ながら、我が身を含め、妻、兄弟などほぼ同年齢なので、みんな同じような身体の不調に悩んでおります。お互いに人に迷惑をかけないように、それだけを念頭において、それぞれが頑張っております。

〔永松久幸〕 故郷熊本の小学校時代の傘寿の会に参加し、旧交を温めました。日常の生活は、80年の歴史をまとめつつ、規則正しい毎日を過ごしています。

〔中村孝士〕 家庭菜園を中心に旅と放浪を楽しんでおります。

：が、身体がなかなか動かなくなってきつつある昨今です。

〔中村裕之〕 健康第一で、仕事もプライベートも頑張らせていただいています。春の訪れに感動し、地域の活動にも参加し、楽しんでいきたいと思っています。

〔中森知〕 70歳になり、ここ伊豆では、ゴルフが5200円でできるようになりました。地元ゴルフサークルに三つ所属して、それぞれ月一回ずつ妻と一緒に楽しんでいます。

〔西島二〕 今年4月末で10年間在籍した古岡奨学会を卒業しました。これからは、12月にクルーズ船で南半球の世界一周、

2027年には、北半球の世界一周を計画中です。一人旅でするので気楽です。

〔野村実〕 コロナや花粉には無縁ですが、最近腰に悩まされ、歩くのが覚束なくなってきました。でも、元気です。70歳になりました。お祝いありがとうございます。

〔原正〕 春回り。元氣も回復。4月5日撮影旅行。一日桜をおいかけ、疲労困憊して昼過ぎ帰宅。門前で転倒。ヒザを負傷。全治2ヶ月。来年は出席します。90になりました。

〔東寛治〕 妻が2003年病気を発症。介助が必要になり、小生が会社を早期退職。介護に専念する決断をしました。

22年間の介護生活ができていたことは、多くの方々から支えていただいたことが大きな要因です。今は在宅での看取り介護を継続中です。

この人生悔いなし。今が一番穏やかな心境です。

〔日向邦夫〕 新年度に入り、関連団体、自治連合会の総会続きで飛び回っています。また、ボッチャの国際ルール指導の声がかり、動いています。

〔平野光徳〕 5月下旬に胃がん入院します。

〔福井康雄〕 特筆することはありません。平々凡々と、毎日を送っております。

〔福沢弘行〕 昨年、夏の健診で肺に病気が見つかり、無理をしないように注意しています。家

庭菜園は、簡単なものを少しやっています。

〔福山通彦〕 お陰様で元氣に暮らしております。やらないことを物忘れや腰痛のせいにするのとなく、常に前向きに頑張りたいと思っています。

〔藤井健〕 両眼不自由になり(視力0.0)、生活に苦労しています。テレビ・新聞はだめ。もっぱらラジオ(深夜番組)とテレビニュースが情報源です。それでも毎日近くの歩道を2000歩歩いています。

学研と定年後の仕事25年全て教育に携わることができ、大変満足でした。多くの皆様に大変お世話になりました。11月に卒寿を迎えますが、卒業する気になりません。もう暫く頑張ります。(代筆)

〔松下勲光〕 昨年9月畑で作業中膝の半月板を損傷しました。病院ではもう一生再生しないとわれ、杖をついていましたが、今では普段と変わらず歩けるようになりました。しかし、畑はこれまでの130坪から60坪に減らして頑張っています。

〔眞當哲博〕 リアルに東海道を歩く挑戦。日本橋から京都三条大橋まで、492kmを踏破しました。のべ23日もかかってしまいました。

〔馬淵宏〕 健康に留意して、何とか命脈を保っています。

〔三浦茂〕 73歳になりましたが、いまだ営業として仕事をさせていただくことに感謝です。

〔水野博之〕 札幌市内も積雪がゼロとなりました。(4月10日現在) これから桜の季節となります。私は寒い季節のほうが好きなので、少し寂しい気がしています。

〔水野隆二〕 近年、学研の事業展開が未来を見越した腰を据えた方向に進んでいることを実感しています。ココファンの実績に加え、宮原社長と社員各位の更なる奮闘に期待しています。

〔皆川昌勝〕 体調管理が難しく、大会に出席することが出来ず、残念に思っております。

〔宮坂清茂〕 老々介護にて、病院通いで日程が埋まります。主治医から手術が必要とのこと故、他市の病院を探し、近々2種の手術を実施予定です。

近隣も高齢化して、隣組行事辞退者が増え、担当可能家屋数が激減、そのため少しでも動ける家が受けざるを得ず、担当役員が回ってきます。

〔宮原雄二〕 日々の日課は犬の散歩。朝夕欠かさず行っています。ゴルフは、意地で続けています。

〔村岡勝美〕 14年間、小学生の登下校の安全見守り隊として、ボランティアでやっています。

先般、校長の送別会で初めて酒を酌み交わし、普段話さない家のこと、仕事のこと等を話し、楽しいひとときを過ごしました。これからも健康な時は持続したいと思っています。

〔村上裕也〕 現在の仕事をもう

少しやっつけていく予定です。できれば75歳まで続けたいと思っています。

【茂木晃二】毎年参加する秋のコンサートは流行風邪のため新年になりましたが、新しいメンバーで結果は今までで一番の成功裏に終わり、意気揚々となりました。

【守田志郎】スポーツジムでの軽い運動とゲーム感覚の株取引の日課を、それなりに楽しんでいきます。趣味の旅行は体力的に半減しましたが、少なくとも学生時代のメンバーと最後の旅行を企画中です。

【森谷利道】3月末に元事業部長の大橋さんの葬儀がありました。私は、永いこと大橋さんにはお世話になりましたので、寂しい日々のこの頃です。

【安威誠】昨年末、妻にガンが発覚。別の検査で偶然乳ガンが見つかり即入院。3月手術。片方全摘の決断に驚愕。かたや私は、前立腺の要精密検査でオドオドするも、要経過観察。この期に及んで、クルーズ船で世界一周南回りの旅に申し込む。年末から108日間、20カ所超の国々を訪問予定です。元気なうちに世界各地を冒険してみよう。

【吉田純三】昨年は腰の不具合によりつらい一年でした。歩行は何とかできますが、農作業は難しいです。一日一日を大切に生きていくことが、これからの課題です。

【和田保男】後期高齢者になって2年目。体調は特別可もなく不可もなくというところだ。

お酒については、主治医の先生より2倍以上の「水」を飲みながらの飲酒をすすめられ、実践しています。

【渡邊洋二】5月末で40年勤務した学研を、前期高齢者の仲間入りで退職しました。昨年末からの腰痛でまだ歩行困難ですが、リハビリに努めて、新たなスタートを切るつもりです。

【綿引英子】大会を楽しみにしておりました。喜んで参加いたします。89歳ガンバリます。

春秋ラウンジ

会員皆さんの投稿頁です。
エッセイ・記録・紀行・
趣味・自慢・秘話など歓迎。
1編400字詰め2枚以内。
投稿多数の場合は、掲載できないこともあります。

新連載
懐かしの名画①

「路傍の石」

川村 正孝

昭和20年8月15日太平洋戦争が終結したその日、私は国民学校初等科1年生。国土は荒廃し、深刻な食糧難とインフレによる生活難で米は遅配欠配が続き、道端に生えている草を入れた雑

炊をするような食生活は、育ち盛りの子供にとっては耐え難いものだった。昭和21年から学校給食が導入され、22年からは国民学校も小学校に改称された。まだまだ社会的な混乱は続いていたが、小学校へは毎日通学できるようになり、徐々に落ち着きを取り戻すようになっていく。

その頃文部省教化映画というものがあり、それは教育上有効であると認められ、文部省が推奨する映画を小学校単位で、全校生徒に観覧させるものだった。教師がいくつかのクラスをまとめて映画館へ引率し、映画を観終わったあと学校へ戻り、感想文を書かされた。昭和23年小学校4年生、この時生まれて初めて観た映画、山本有三原作「路傍の石」(主演：片山明彦)の鮮烈な印象は今でも脳裏に刻み込まれており、鮮やかに甦る。極貧の家に生まれ、幼くして奉公に出され厳しい生活環境の中でも逆境に立ち向かい純真な心を失うことなく成長していく少年吾一の生きざまは、当時の悲惨な生活を強いられていた子供の共感を得るには充分なものだった。さらに、映画館で映画を観るなどということは夢に等しく、この時の感動は、その後の映画に対する関心や憧れを増幅するきっかけとなる。

途中でフィルム切れて繋ぎ合わせるまでに時間がかかったりしてアクシデントが重なったが、初めて観た「路傍の石」によって映画への興味と感動は揺るぎないものになっていた。

昭和24年、5年生になった。戦後の混乱から立ち直り始めた日本は、復興が本格化し、明るい兆しが見え始めた。この時、人の心を支え和ませてくれたのが文化と娯楽産業。春秋会のフイナールで、いつも合唱する「青い山脈」もこの年大ヒットした歌である。この頃から日本の映画界も活発な動きを見せるようになり、映画製作各社が制作した映画が映画館を賑わせた。私は「喜劇の神様」と言われた斉藤寅次郎監督の作品が大好きで、「青空天使」「憧れのハワイ航路」「おどろき家族」などを煎餅をかじりながら観ているのが常で、笑い転げていた。いずれの作品も花菱アチャコ・エンタツ・古川ロッパ・美空ひばり・清川虹子等が出演していて、それなりに楽しかった。ジャンルの違う作品を観たことによって私の映画に対する興味や関心は益々高まっていく。

て初めて観る洋画は実に新鮮で驚きの連続。派手・オーバーアクション・言葉が多い・ストーリー展開が早いなど、明らかに邦画と違う。洋画との出会いは、子供心にもその奥行きを深さを感じ取ることができた。

1枚の写真

「いまどろ姉妹」

大井恒晴

●「総評」という労働組合の組織がありました。議長の太田薫、事務局長の岩井章をトップとする幹部たちは、その高慢ぶりから「労働貴族」と皮肉られていました。父が「教宣局長」だった頃、総評から「新週刊」という週刊誌が発行されました。発行責任者「大井今朝治(父)、編集長「岡村昭彦、顧問「石川達三」という陣容でした。

●「新週刊社」の社旗をつけた「セドリック」が、父の送迎に使われました。父も、労働貴族の一員だったかも知れません。私は浪人中で、よく同乗させてもらい、社に遊びに行きました。社では、資料室で本を読んだり、総務部の雑用を手伝ったり、編集部顔をしたりしていました。あるとき、編集長の岡村さんに、「大井くん、愛国心って何だと思う?」と訊かれました。私は言葉に詰まって、答えた内容を覚えていません。「愛国心」を特集した「新週刊」が発売されたのは、すぐそのあとでした。

●10号を過ぎた頃、巻頭のグラビア頁に「こまどり姉妹」が取り上げられました。苦勞を克服して、歌手として成功した人物というのが、取り上げる理由でした。カメラマンの齋藤さんが、「恒ちゃん、取材について来る?」と言ってくれたので、「うん!」と言いました。取材は、文京公会堂のリサイクル会場でした。客席から拝観したあと、楽屋へ向かう齋藤さんについて行きました。撮影が一通り済んだあと、今回の「一枚の写真」を撮ってもらいました。私



は、姉妹のファン倶楽部に入会し、追っかけが始まりました。台東公会堂の前座では、デビューしたばかりの舟木一夫が「高校三年生」を歌い、国際劇場の前座では、デビューしたばかりの北島三郎が、「なみだ船」を歌っていました。

●「組合員の十人に一人が買ってくれれば、三十万部」は売れ

る」という予測でスタートした『新週刊』でしたが、甘い見通しでした。創刊号こそ十七万部ほど売れましたが、その後は減少が続き、十万部を切るまでに落ち込み、創刊から一年と五カ月で廃刊となりました。その全ての責任を、父が一手に引き受けて「総評」を辞任するに至りました。

●編集長だった岡村昭彦は、その後「PAN A 通信社」の契約特派員になりました。1965年、戦火の続くベトナムに渡り、報道カメラマンとして取材を続けました。その成果は、すぐに表れます。グラフィック雑誌「LIFE」誌上に「醜いベトナム戦争」と題した9頁の写真特集が掲載され、大きな反響を呼びました。1965年には、「南ベトナム戦争従軍記」を岩波書店から刊行しています。その宣伝の帯には、「南ベトナム戦争報道の鮮烈さで「LIFE」に、第2のキヤバ」と紹介された国際フォトジャーナリストの戦場レポート」という文章がありました。

駅ナカで発見⑭

田中 勲

航空公園駅(西武新宿線)

「爺もわくわくする駅」

現在、私は西武線全駅下車の旅に挑戦していますが、高齢化にともないスピードが遅くなっています。先日、新宿線の全29

駅を訪ねました。この線で誠に気分が良くなる駅に下車しました。西武鉄道の駅としては池袋線練馬高野台駅に次いで2番目に新しく、新宿線としては最も新しい「航空公園駅」です。

駅舎はまさに格納庫。そこを出て2、3分歩くと、公園の中にあの「YS11」が今にも飛び立つような雄姿を見せています。ヘリコプターやSLを展示してある公園は沢山ありますが、旅客機が駅前におかれている駅は国内にあるでしょうか。子供だけでなく、こんな爺もわくわくうきうきしてきます。

この地はもと飛行場あと。戦後米軍基地として接収されていたが、昭和41年に一部が返還され、その跡地に造られた広大な公園で、飛行機の仕組みが学べる所沢航空発祥記念館はじめ、野球場、野外ステージなど県西部のスポーツ・文化の交流拠点になっています。

この公園や駅の設置で、所沢市の人気が一段と上がったのではないのでしょうか。



航空公園駅前
駅近くの広場に展示されているYS11機

牡丹 町田牡丹園

原 正

花王雨歇緑波中 花王(牡丹) 雨やんで 緑波の中
玉貌露珠揺恵風 玉貌(花卉)露珠 恵風に揺れる
魏紫瓊肌傾國色 魏紫 瓊肌(美しい肌)傾国の色
楊妃暗淚豈無同 楊貴妃 暗淚 豈 同じならんや

令和七年端午の節作



春・秋・会・告・知・板

★秋季大会は十月十九日(日)
第八十二回秋季大会は右記月日に、学研本社ビルで開催します。

ぜひご出席ください。

★年会費納入のお願い

年会費未納入の方は、ぜひお早めに納付をお願いいたします。

お問い合わせは谷口義博副会長(会計担当)まで。

電話〇四五―五〇一―一九六〇

★会員(逝去のご連絡のお願い)

会員が亡くなられた場合、弔電、ご香料の手配をしています。

会員のご不幸を知られた方は

★皆様のエッセイ、紀行などの投稿もお待ちしております。

発行〓学研春秋会事務局 〒336-0063 埼玉県さいたま市南区大谷口一五八六一三

電話・FAX 〇四八―八八三―一六二九

発行人〓安部 隆 編集人〓森 一郎

幹事〓谷口 義博/忍足 恵一/村上 裕也/菅原徳太郎/

中居栄太郎/伊與部史朗/福山通彦

印刷〓(株)学研スマイルハートフル